

令和8年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 8 年 8 月 2 8 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 みのっ子育て隊

氏 名 豊福 範章

令和8年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ：「スポーツで広がる協働のまちづくり」

取組の名称	運動遊びイベント「みのっこあそびば」
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを300字（句読点含む）以内で記載してください。	「みのっこあそびば」は、御野学区の子どもと保護者を対象に、御野小学校・岡北中学校の体育館や校庭で開く、参加無料の運動遊び場です。 安心して外遊びできる場や多世代交流が減るなか、ドッチボールやバドミントン、ボッチャなど、子どもたちがやりたい！と思う遊びに夢中になれるよう、保護者やボランティアの協力を得ながら運営しています。 「運動って楽しい！」を実感できるきっかけをつくる場として、子どもたちの主体性や社会性を育み、また大人は子どもを信じて見守る場であることを目指しています。 御野小学校PTAみのっ子育て隊を運営主体に、PTA・小中学校・社会福祉協議会・体育協会が力を合わせ、スポーツを入り口に世代と地域をつなぐ協働のまちづくりを進めています。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などを書いてください。	年4回のイベントに、毎年延べ100名程度の子ども達が参加してくれています。参加者の声からは、段々と目指している場に近づいていることが見えてきています。 〔参加者アンケートの分析から見えてきた成果〕 ◇子どもの成長と成功体験 ▪ 「できない」が「できた」に変わる成功体験 ▪ 我慢強さや自己コントロールの芽生え ◇異年齢・多様な人々との自然な交流 ▪ 学年を超えた関わりと友達づくり ▪ 国籍を超えたオープンな遊びの場 ◇親子のコミュニケーションと大人のリフレッシュ ▪ 親子で全力で遊べる機会の提供 ▪ 安心して見守れる・遊ばせられる場所 ◇主体性とルール理解の向上 ▪ 子どもからの自発的な提案・ルール共有 ▪ マナーや片付けの意識づけ また、「みのっ子育て隊」という有志メンバーが企画運営していますが、イベントのプログラムをシンプルにブラッシュアップしたり、当日参加の保護者に簡潔な資料で見守りへの協力を呼びかけるなど、安全安心な運営ノウハウが蓄積されつつあり、少人数のみのっ子育て隊メンバーでも持続可能なかたちとなりつつあります。

〔様式 1〕

協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	運動遊びイベント「みのっこあそびば」
テーマとの関連	◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 スポーツの語源でもある「遊び」をキーワードに活動しています。子どもたちの育ちにおいて大切な「遊び」は多様な中で、私たちの取組は「運動遊び」に軸足を置いています。それは、幼児期・学童期・青少年期・壮年期・老年期という発達段階やライフステージを通じて人間が健やかに育つことを考えたときに、運動・スポーツの持つ効果が大きく、重要と考えたからです。 自分たちが住み続けたい、自分たちの子や孫に住み続けてほしい「御野学区」とは、いったいどんな姿だろうと考えたときに、学童期の子どもたちが、日々の運動遊びを「楽しい!」「気持ちいい!」と感じながら、まるで樹木の幹を太くするように育つことができる場があるといいのではと思い、「みのっこあそびば」という取組を続けています。 協働団体で知恵を持ち寄りながら、持続可能性を高めていきたいと考えています。 イメージ図 (御野学区の目指す姿)
取組の目的・目標	◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 子どもたちの育ちにおいて大切な「3つの間（空間、時間、仲間）」の不足・喪失が課題と言われる中、「みのっこあそびば」は、「子ども主体で遊ぶ場【主体性】」「異年齢の子どもが集まる場【社会性】」「安心して遊びに夢中になれる場【きっかけづくり】」「大人たちは子どもを信じて見守る場【こどもまんなか】」を目指しています。 また、地域の大人の交流も減る中、御野小学校PTAでは「できる人が、できるときに、できることを」をモットーに、活動参加への心理的なハードルを下げることで、保護者や地域住民の交流の増加に向けて取り組んでいます。「みのっこあそびば」も、みのっ子育て隊や当日参加の保護者・ボランティアが無理なく協力することで、安全安心に運営できるシンプルなスタイルを目指しています。

取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。 1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など 御野学区在住児童（3年生以下は保護者同伴。幼児同伴可） ※各回40名程度を想定 2 活動内容、実施方法など （1）運動遊びイベント「みのっこあそびば」@岡北中学校（体育館、グラウンド） ①じゅんぴうんどうあそび アイスブレイクを兼ねた集団遊びを冒頭に実施 内容：フルーツバスケット、ドンジャけん、新聞紙じゃんけん、しっぽとり、長縄 等 ②あいさつ・説明（ルール、流れ等） 御野小学校で児童に周知している「3つのA（あいさつ、あんぜん、あとしまつ）」を あそびばのルールとしている。 ③じゅうあそび 用意された遊び道具、持参した遊び道具などで自由に遊べる時間 内容：バドミントン、バスケットボール、野球、ドッジボール、ドッジビー、サッカー おにごっこ、かくれんぼ、ポッチャ、モルック、長縄・縄跳び、トランポリン バランスボール、風船バドミントン、風船バレー ④●●大会 集団遊びの時間（任意参加で、「じゅうあそび」の継続もOK） 内容：親子ドッジボール・ドッジビー大会、親子風船バレーボール大会、紙飛行機大会 みのリンピック大会（風船バドミントン、ポッチャ） ⑤片付け・あいさつ 参加者みんなで片付けをし、「ありがとう」のあいさつをして解散 （2）夏イベント「みずでっぽうあそび大会」@御野小学校（体育館、中庭） 夏らしいイベントとして、水鉄砲を持参して集まった子どもたちが、チーム毎に段ボールで 陣地をつくって水鉄砲で遊んだり、チーム毎に作戦を考えて海賊から宝物を取り戻そうとし ながら遊んだりしている。 3 工夫した点や取組の特徴 （1）子どもが遊びを選び、自己決定できる工夫 「みのっこあそびば」の会場には、ラケットやバット、いろんなボール、トランポリン、ポッチャなどの遊び道具を置いておき、子ども達が遊びを選べるようにしている。 - バドミントンのネットや、ポッチャのターゲット（的）は予め設置しておくことで、「やりたい!」と思ったときにすぐできたり、「やってみよう」と思いやすい効果を狙っている。 「●●大会」は任意参加とし、「じゅうあそび」も継続できるようにしている。 （2）集団遊びのきっかけづくり - 子どもたちの遊ぶエネルギーは相当なもので、2時間程度なら「じゅうあそび」だけでも十分な参加者は多いが、「仲間と遊ぶと楽しいよ」「仲間がいると遊びの幅が広がるよ」といったことを体感してもらえるよう、集団遊びの時間として「じゅんぴうんどうあそび」「●●大会」を設けている。 （3）少人数のみのっ子育て隊でも運営できるよう保護者を巻き込む工夫 - 見守る大人の役割を簡潔に記載した資料（別添）により、当日のイベント前に保護者打合せの時間を取り、保護者の協力を呼びかけている。 - 例えば、じゅんぴうんどうあそびで保護者が長縄を粘り強く回してくれて、最初はひっかかってばかりの低学年の子が、仲間のジャンプに刺激を受けながら、1回、2回と跳べる回数が増えていき、会場の保護者みんなで「すごいね!とべたね!」と声を掛け合い、子どもの成長を一緒に喜べたことは、とても嬉しい出来事だった。 （4）子どもたちが自力でアクセスしやすい学校施設での実施 - 保護者の同伴や送迎がなくても、徒歩や自転車などで児童が自力で来場できる中学校や小学校で実施している。 - 中学校施設は空き時間が少ないという課題があるが、定期考査中の部活動休止のタイミングに実施することで、円滑に施設が確保できている。 （5）同伴幼児向けのキッズスペースを用意 - 最近では、幼児の保護者同士で雑談など交流する姿も増えてきた。 ◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。 公式ホームページ：https://minokko-asobiba.com
-------	---

取組の実施期間 今後の活動展開など	始期：令和4年10月～	☒ 継続予定 ☐ 令和 年 月終了 ☐ 令和 年 月頃終了予定 該当するものに☑し必要事項を記入してください。
	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 ・まずは、現在の取組を微調整しながら、持続可能なものとして継続することに専念したい。 ・その上で、活動への理解者・賛同者・ボランティアなどの輪を、学区内の個人・団体に広げていきながら、様々な協働の可能性を模索していきたい。 ・そのためにも、今年度作成したホームページの内容を充実させていくなどにより、活動の魅力が広く伝わるように取り組むとともに、機会があれば、市PTA協議会などで、本校PTA活動として事例紹介させていただきたい。	

協働による効果	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。 ・PTAの事業であることから安定的に運営できており、PTA活動として「運営補助ボランティア」の募集も円滑に行うことができています。 ・イベント開催チラシは、PTA連絡網（USAGIメール）での保護者あて送信に加え、小学校との協働により、全児童に紙チラシを配布することができ、児童の目に止まって保護者に「これ行きたい」と言えたり、デジタルが苦手な家庭へも周知することができています。 ・小学校・中学校との協働により、参加者がアクセスしやすい学校施設を会場として無償使用することができています。 ・地区社協からの費用援助により、遊び道具を年々充実させることができ、地域の方の「子どもたちに健やかに育ってほしい」という思いを、遊び道具の提供というかたちで届けるとともに、地区社協への活動報告というかたちで、「みのっこ」が健やかに育っている様子を伝えることができています。 ・学区体協の協力により、会場利用に関するスポーツ少年団等との調整を円滑に行うことができています。 ・企業の協力により、今年度、活動の魅力を伝えるためのホームページを作成することができ、発信力を強化することができた。	
協働団体とその役割 ※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。 ※足りない場合は欄を追加してください。	団体名	御野小学校PTA
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☒ その他（PTA）
	役割	費用援助、運営、活動支援
	団体名	御野小学校
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	イベント開催チラシ配布への協力、会場施設提供
	団体名	岡北中学校
	団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☒ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	会場施設提供
	団体名	御野地区社会福祉協議会
	団体種別	☒ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	費用援助
	団体名	御野学区体育協会
	団体種別	☒ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☐ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）
	役割	団体間の相互調整ほか
団体名	株式会社こねり	
団体種別	☐ 住民自治組織 ☐ 市民活動団体 ☒ 企業 ☐ 教育機関 ☐ 行政 ☐ その他（ ）	
役割	ホームページの企画・制作・運営、運動あそび事業の企画等	